

東住吉区矢田南部地域まちづくりビジョン【概要】

矢田南部地域の課題

- ・対象地域には公共施設を供用廃止した市有地、阪和貨物線の跡地等、約3haの未利用地が集積
- ・年少人口や生産年齢人口減に伴う年齢構成の偏り
- ・文教施設の存在や高齢化の進行による事業所数の増
- ・東住吉区での空家率の高さ
- ・市施設の供用廃止に伴う災害時避難所の閉鎖
- ・近隣の商業施設数の少なさ
- ・将来的に地域全体の防犯・防災力への影響が懸念

矢田南部地域の強み

- ・潜在的な労働力率の高さ
- ・地域コミュニティの強さ
- ・全面開通予定の阪神高速大和川線の近さ

その他考慮すべき視点

- ・東住吉区将来ビジョン（2016-2020）に掲げる「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」を実現
- ※大阪市としては、市外転入や区間移動の理由として仕事、結婚に次いで高いのは「生活環境の利便性（職住近接など）」特に「通勤や日常の買い物が便利」「スポーツ施設や公園等が充実」を重要視

矢田南部地域の将来像

周辺住環境との調和がとれつつ、新たなにぎわいと活力を創出できる空間

まちづくり方針

民間活力の導入によるまちづくり

こどもから大人まで気軽にスポーツ等を楽しめる空間の確保

大和川河川敷と一体となったまちづくり

利便性の高い生活環境への転換

豊かな地域コミュニティの活性化の創造

まちづくり戦略

職住が調和するまち

- ・住居系地域としての都市機能のみならず、阪神高速大和川線に近い立地等を活かし、大阪市の南側の玄関口としての商業・業務系（集客・商業施設、物流施設など）の機能を考慮した土地利用を促進し、就業者等により地域ににぎわいと活力をもたらすことができる民間事業者による施設等の誘致（現在居住している地域住民の住環境や交通環境に配慮された施設等であること）

スポーツが盛んなまち

- ・子どもの体力づくりという大阪市の課題やこれまでに把握した区民等のニーズ、現在の東住吉矢田総合スポーツグラウンドにおける取り組みを参考に、気軽にスポーツ等に親しむことができる空間を整備

憩いとうるおいのあるまち

- ・住居系地域として発展してきた周辺地域と調和しながら、隣接する大和川や大和川東公園を活かした景観となる空間を創出（阪和貨物線跡地については、矢田南部地域のまちづくりと一体的な活用を図る）
- ・矢田教育の森公園の機能向上及び既存の公園とのネットワーク化の促進
- ・これまでに把握した区民等のニーズを踏まえ、憩いとうるおいを感じることができる魅力ある空間を整備

歩いて暮らせるまち

- ・周辺の施設状況を考慮しながら、集客・商業施設等を誘致することで、民間事業者の関係者や周辺住民の利便性が向上
- ・矢田南部地域の周辺住民の利便性向上の観点から、東西道路のネットワークを確保

絆の強いまち

- ・「人権が尊重されるまち」を実感できるよう、これまで培われてきた地域コミュニティを尊重しながら、矢田南部地域のそれぞれの主体と周辺住民等との間での交流や協働の一層の促進
- ・誘致した民間事業者による敷地内及び周辺の防犯・防災力向上の取組